



ドイツ連邦共和国
大使館
東京

ポスター展示会のご案内

期間 : 2015年5月25日（月）～5月29日（金）
（10:00-17:00 ※25日（月）のみ13:00-17:00）
場所 : 新関西大学会館北棟1F ロビー

D I K T A T
U R U N D
E M O K R A
T I E I M Z
E I T A L T
E R D E R E
X T R E M E

極限の時代における 独裁と民主主義 20世紀ヨーロッパ史を 照らし出す光



ミュンヘン現代史研究所
ドイツ文化ラジオ

および

旧東独社会主義統一党による
独裁体制を検証するための
連邦基金による展示会

Institut für
Zeitgeschichte
München-Berlin

Ein Programm
von Deutschlandfunk
Deutschlandradio Kultur

BUNDESSTIFTUNG
AUFARBEITUNG

主催：関西大学大学院文学研究科副専攻「EU－日本学」

本ポスター展はヨーロッパの現代史を、精選された 190 枚近い写真を 26 枚に割り付け構成されたもので、ドイツの「現代史研究所」「ドイツ文化ラジオ」そして「連邦検証基金」により 2014 年に企画・作成された。また同展に寄せられた高い関心に対し 10 言語に訳され国外でも展示されてきた。毒ガス等の「近代兵器」により悲惨な結果をもたらした第 1 次大戦開始の 1914 年から現代まで、反戦の意志は共有しつつも脆弱な民主主義とナショナリズムにより繰返された第 2 次世界大戦、東西分割と冷戦、軍拡から緊張緩和へ、一党独裁による東欧の市民抑圧と蜂起、平和革命と EU 拡大、そしてなおも続く平和への挑戦に対し「想起す」ことの重要性を訴える。

関西大学大学院文学研究科副専攻「EU－日本学」